Ant case mini取扱説明書



この度はAnt case miniをご購入いただき、誠にありがとうございます。

簡単に使い方をご説明させていただきます。

まず、Ant caseは樹上性と土中性のアリの両方をより簡単に飼育することを目的として製作しました。

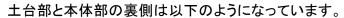
また、基本的には中型種以上(体長4mm以上)のアリを飼育するのにむいています。

ヒメアリなどの超小型種は脱走の恐れがありますのでご注意ください。

各パーツ説明



左から、アリが必要な湿度を保持する「土台部」、アリが巣として利用する「本体部」、本体部に結合する観察用スライドガラスと、それを留める「カバー」で構成されています。





まずは本体部の組み立て説明です。



本体部の上部溝にスライドガラスをセットします。

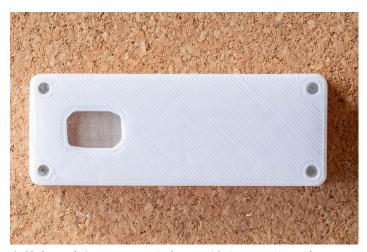


さらに上からカバーを付けたら完成です。

この時カバーが「カチッ」というまで奥に押し込みます。 押し込んだ後は横から見てカバーと本体部が水平になっていることを確認します。 カバーに歪みがある場合はもう一度押し込んでください。

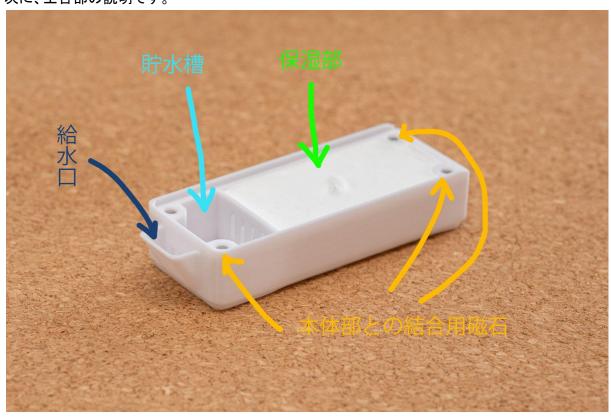
カバーをつける際はガラスの割れ等に充分注意して行ってください。カバーを取るときも硬い場合がありますので充分注意してください。

また、樹上性のアリであれば土台部に結合せずにこのまま飼育ができます。



本体部の裏側には、土台部との結合用の磁石が埋め込んであります。

次に、土台部の説明です。



給水口から水をいれることで貯水槽に水がたまります。



貯水槽の水は隔壁にあるスリットを通して保湿部にある保水物質が吸水します。(今回は石膏を 使用しています)

給水口は突き出るような設計になっているため、本体部との接続時もそのまま給水可能であり、 また、貯水部にどれくらい水があるのか一目で確認できるため、給水タイミングが測りやすいで す。

なお、露出しているため蒸発速度がはやく貯水槽の水分は比較的早く失われますが、2週間程度は保湿部の水分だけで充分です。

ただ、なるべく貯水槽に水分がある状態を常に保っていることをオススメします。

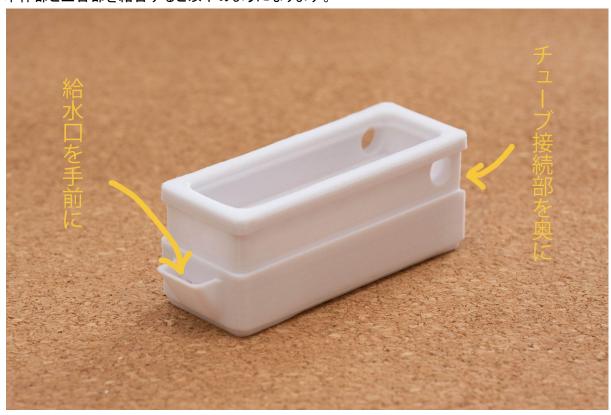
底面は周りを削るように設計してあるため、不使用時は以下のように積み重ねて保管が可能です。



後ほど説明しますが、上部の枠が一辺欠如しているのは、Ant caseを複数接続時に、何らかの理由で土台部を取り外す時に手前にスライドさせることで分離しやすくなっております。

使用方法

本体部と土台部を結合すると以下のようになります。

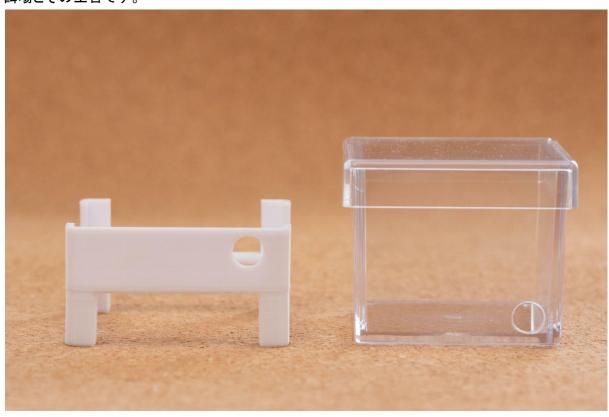


結合の際は、向きに注意してください。

上の画像のように土台部の給水口を手前にし、本体部のチューブ接続部を給水口から遠くなるような向きで結合してください。

結合は磁石によって行っているので、本体部のみを持って急に持ち上げたり、振り回したりすると分離してしまいますのでご注意ください。 ゆっくり持ち上げたり、丁寧に扱う分には分離はしにくいです。

餌場とその土台です。



チューブ接続穴(8mm)位置を合わせるように、餌場を土台に載せます。



完成です。

あとは本体とチューブで接続すればアリの飼育が可能です。



本体部には両側にチューブ穴が空いていますので、餌場や他のケースと接続しない方はエンドキャップ付きチューブでフタをします。



Ant caseを複数つなげた場合です。



例えば、左の本体部が汚れて右側にアリが移動して欲しい時などは土台部を手前にスライドさせてずらすことで、湿度が供給されなくなり、右側のケースへの移動が迅速になると思われます。 高湿度を好むアリに特に有効です。

土台部が汚れてしまった場合の交換なども容易に行えます。

以上になります。

なにかご質問があれば、以下までご連絡ください。

Ant Street Marketお問い合わせ: https://thebase.in/inquiry/antstreet-base-shop

公式Twitter: https://twitter.com/AntStreetMarket



最後までご覧いただきありがとうございました。